

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との関係性について相互的に、行事などの情報共有や、参加を行っているが、まだまだ地域に密着した社会資源になり得ていない現状でもある。地域の中の家であり施設としての社会資源としての役割が担える関係性を深めていく事が課題	施設で実施している施設内行事についても、地域の方が気軽に参加、見学が出来る体制を見直し開かれた施設を目指す	施設内行事においても近隣住民の方が見学できるよう掲示板や運営推進会議の場を通して呼びかけ発信していく 施設への来訪機会を増やし、施設の現状を知って頂くと共に、気軽に来訪できる環境を作る	6ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの確立について、代替案の幅がまだまだ不足していると感じている。個々に合わせた安全性と自由な暮らしをより高める為、知識と技術の継続的確保への取り組みを要す	新しい情報、研修、勉強会を積極的に取り入れ、知識と技術の向上を継続的に図り、画一的でない個々に合わせた対応力の向上を図る	新しい情報の収集、研修、勉強会への積極的参加を図る 研修等で知り得た知識や情報の共有体制を見直し確実に全職員が、情報を共有できる体制作りを行う	6ヶ月
3	54	居心地の良い環境作りが充分でない方もおられる為、入居者全員が、自身の生活の場として安心して暮らせる環境づくりへの工夫を要す	一部の方に対しての情報の引き出しと、家族も含めて一緒に生活環境を作っていく	これまでの生活状況の情報をより引き出し、可能な限り家族様も一緒に、生活環境を見直していく	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。